

# 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

透析導入時に血液透析用短期留置カテーテルを用いた患者における血栓症の発症リスクについて	
1. 研究の対象および研究対象期間	昭和大学病院にて2019年4月1日から2024年3月31日の間に血液透析用短期留置カテーテルを用いて血液透析導入をした患者さん
2. 研究目的・方法	血液透析導入時の短期留置カテーテル挿入により、血管内に血栓を生じることがあります。それにより血栓を生じた血管への再度のカテーテル挿入が困難になるなどの不利益を生じることがあります。血栓症を生じる患者さんの特徴を調べることにより、血栓症の予防に役立てることが目的です。
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	性別、年齢、透析導入に至った原疾患、現病歴、既往歴・併存疾患、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態、透析用カテーテルを留置した血管内の血栓症の有無、内服薬、アレルギー、生活歴、透析用カテーテルの留置期間・種類、血液検査データ(WBC、RBC、Hb、Ht、MCV、Plt、PT、APTT、Dダイマー、FDP、TP、Aib、ビリルビン、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、Ca、P、Na、K、Cl、AST、ALT、LD、ALP、 $\gamma$ -GTP、CK、アミラーゼ、CRP)
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません
6. 研究組織	研究責任者 研究機関名 昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 氏名 飯田 菜央

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門

氏名：飯田 菜央

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 6号館 4階腎臓内科医局 電話番号：03-3784-8533